

## NACCSプログラム変更要望一覧（平成30年度分）

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-001	共通貨物		TYC	他所蔵置許可申請(TYC業務)を申請する前に申請内容をチェックする為申請の入力控を事前に出力して頂きたい	他所蔵置許可申告(TYC業務)の控が出力がなされない。	他所蔵置許可申告(TYC業務)の申告控えを出力して頂きたい(控の出力がされないため、業務の出力がされるようにして頂きたい)	
H30-002	共通通関	石油製品等移出(総保出)輸入申告事項登録	MWA	MWA業務に貨物情報を利用しない移出再移入承認申請の機能を追加して欲しい。	A保税工場で生産された保税工場製品をB保税工場に移入する手続きは第5次、第6次NACCSともに対応しておらず、マニュアル申請を余儀なくされている。今後、原則NACCSで申請するよう法改正された場合、第6次NACCSでは対応できていない。そのため、申請と許可書回収で1日2回税関に出向かなければならず、約1時間30分を移動の為無駄に使用している。	MWA業務に移出再移入承認申請(再IM)の機能を追加するか、貨物情報を利用しない再IM申請の機能を新設して欲しい。	将来の原則NACCS化にも対応できるし、移動時間を他の業務に使えるため、効率が上がる。
H30-003	共通通関	輸出入申告業務	IDA IDC EDA EDC MIC	営業所の利用者コードと通関士利用者コードの紐付け設定を見直しを行い、どの営業所の通関士であっても所属する営業所以外で実施されたIDA、EDAの通関士審査及び申告を可能となるよう希望いたします。	現行、通関士毎に付与されるNACCS利用者コードは、所属する営業所に紐づけされており、通関士が自己のNACCS利用者コードにて申告作業を行う場合、通関士コードと入力控え(IDA/EDA)に登録された営業所が同一でないと申告が行えない仕様となっている。	営業所及び通関士利用者コードの仕様について、以下の案を要望致します。 案1 現行仕様と同じく営業所の利用者コードと通関士利用者コードの紐づけ設定を残す場合には、どの営業所の通関士であっても所属する営業所以外で実施されたIDA、EDAの通関士審査及び申告業務を可能としていただきたい。 案2 現在、国内に設置している3か所の通関営業所で保持しているそれぞれの利用者コードを一つに纏め、その纏めた通関営業所の利用所コードと通関士の利用者コードを紐づける仕様としていただきたい。これにより、各営業所で実施したIDA・EDAを営業所の枠にとらわれず通関士審査及び申告が可能になると考える。	弊社では申告官署の自由化を踏まえ、国内に設置している東京、成田、関空3箇所の通関営業所に所属する通関士が営業所の枠にとらわれず、各営業所で実施されたIDA/EDAの審査及び申告業務を実施できることで、日々変化する貨物量に柔軟に対応し、遅延のない通関業務の推進が可能ではないかと期待している。
H30-004	共通通関	輸出入申告許可書の荷主への配信	IDC EDC AMC KKC EEC EAC	以下の帳票データについて許可通知情報と同様に輸出入者に提供頂きたい。 ◎修正申告控情報 ◎更正通知書情報 ◎輸出許可内容変更通知 ◎輸出取止め再輸入許可通知情報  * ebMS処理方式対応頂きたい。	NACCSから受信する通関許可情報は商社各社の社内システムにオンラインorバッチ処理にて取り込まれ、営業システム・経理システムとの連携により一連の処理が実行されているが、当該修正データが適時に入手できず、また、システム処理が手入力となるため以下の問題が発生している。 ①業務効率の低下②入力ミスの発生③無用な社内組織間での調整作業の発生 ④保存データの完全性の不担保 また、修正データが適時に提供されないことから企業ガバナンス・コンプライアンスの観点の以下の問題がある。 ①荷主の認識しない修正が発生する余地がある。 ②修正データを入手した社内営業部門が物流統括部門に連絡することなく当該修正処理を実施することがある。 ③社内保管データの完全性が失われる可能性がある。 ④修正件数が多い場合、社内規定上求められている申告毎の処理をではなく、イレギュラーな社内規定違反の一括処理をせざるを得ないケースが生じる。 更に、第6次NACCSから始まる輸出取止め再輸入手続きのシステム化により出力する「輸出取止め再輸入許可通知情報」についても、正確な輸出金額を把握する為に必要である。	以下の帳票データについて許可通知情報と同様に輸出入者に提供頂きたい。 ◎修正申告控情報(AAD4711, SAD4711) ◎更正通知書情報 -更正通知情報(AAD4811, SAD4811) ◎輸出許可内容変更通知 -輸出許可内容変更通知情報(簡易)(AAE4431) -輸出許可内容変更通知情報(書類)(AAE4441) -積戻し許可内容変更通知情報(簡易)(AAE4451) -積戻し許可内容変更通知情報(書類)(AAE4461) -特定輸出許可内容変更通知情報(簡易)(AAE4472) -特定輸出許可内容変更通知情報(書類)(AAE4482) -展示等積戻し許可内容変更通知情報(簡易)(AAE4491) -展示等積戻し許可内容変更通知情報(書類)(AAE4501) -輸出許可内容変更通知情報(輸出マニフェスト通関)(簡易)(AAE4991) -輸出許可内容変更通知情報(輸出マニフェスト通関)(書類)(AAE5001) -輸出許可内容変更通知情報(簡易)(SAE4431) -輸出許可内容変更通知情報(書類)(SAE4441) -積戻し許可内容変更通知情報(簡易)(SAE4451) -積戻し許可内容変更通知情報(書類)(SAE4461) -特定輸出許可内容変更通知情報(簡易)(SAE4471) -特定輸出許可内容変更通知情報(書類)(SAE4481) -展示等積戻し許可内容変更通知情報(簡易)(SAE4491) -展示等積戻し許可内容変更通知情報(書類)(SAE4501) ◎輸出取止め再輸入許可通知情報 -輸出取止め再輸入許可通知情報(大額)(AAE5430) -輸出取止め再輸入許可通知情報(少額)(AAE5440) -輸出取止め再輸入許可通知情報(輸出マニフェスト通関)(AAE5450) -輸出取止め再輸入許可通知情報(大額)(SAE5430) -輸出取止め再輸入許可通知情報(少額)(SAE5440)  * ebMS処理方式対応頂きたい。 実現時期については年度始まりとなる2018年4月1日分データから提供していただきたい。	

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-005	共通通関	蔵入申請	IDC	保税工場へのIM（移入）申請をしております。IS（蔵入）申請は通常保税工場へは行いませんが、チェック機能が無く、承認がおりてしまうことが判明致しました。間違いが発生する可能性がある為、保税工場へは蔵入承認できなように申請時にガードを掛けて頂きたい。	次期NACCSテストにより判明		
H30-006	共通通関	関係省庁業務（例：食品等輸入届出書）	IFC	輸出入許可通知情報データと同様に、関係省庁業務のEDI受信（ゲートウェイ接続）のeBMS処理方式による対応	現在、荷主は輸出入許可通知情報データを受信することが可能になっており、この機能により通関業者よりも早く許可通知書を手渡し、社内の統計等にも活用出来ている。本機能は荷主として最大のNACCS参加メリットと言える。しかしながら、関係省庁業務（例：食品等輸入届出書）は現在でも直接入手することができない状態となっている。	これら関係省庁業務も同じように荷主が直接受信できるようにしていただきたい。また、技術的な面では輸出入許可通知情報は国際標準のeBMS処理方式という通信処理手順で受信しており、これと同様に、関係省庁業務の送受信に対してもeBMS処理方式で受信できるようにしていただきたい。加えて輸出入許可通知と同様に二重出力機能の対象に加えていただきたい。	
H30-007	共通通関	関税割当登録業務	TQA	TQA（関税割当証明書内容登録）業務の文字種類制限の緩和	『第6次電算関係税関業務事務処理要領（暫定版）税関手続関連（共通編）共通手続 第1章 総括事項第17節 関税割当に係る数量管理手続 1 関税割当証明書内容の登録』では「関税割当証明書番号」では、『「.」（ピリオド）、「-」（ハイフン）、「#」及び「号」等の英数字以外の文字については省略したうえで入力すること。』となっているが、これでは“-11”、“11-1”、“11.1”の区別がつかない。また、「.」（ピリオド）、「-」（ハイフン）がないため、番号確認の際に可読性を著しく損なっている。※「関税率表番号」も同様である。	「関税割当証明書番号」「関税率表番号」について、「.」（ピリオド）、「-」（ハイフン）等を可とし、極力オリジナルに近い番号を使用してほしい（「第」「号」等の漢字は不可で構わない）。	
H30-008	共通通関	輸出申告事項登録 輸入申告事項登録	EDA IDA	IDA、EDA業務での、海上と航空の画面の展開方法について	IDA、EDA業務において、新規業務で展開した際、種別がプルダウンで展開されるが、種別コード横の日本語表記が「輸入申告」などだけ記載されていて、AirなのかSeaなのか日本語表記だけでは判断ができなくなっており、業務で混乱が発生した。  また一方で、AMA業務（修正申告）のように種別は画面展開前には選べず、入力画面展開後、海上と航空を選べるようになっている。	IDA、EDA業務の新規業務を行う際の、種別プルダウンの日本語表記に海上か航空かわかるように追記を行ってほしい。もしくは展開後に、海上か航空の種別を選ぶようにしてほしい。 追記例：航空輸入申告の場合 現状：AID（輸入申告）⇒プロ変後：AID（航空輸入申告）	海上と航空業務は、多くの通関業者は分けて事業所を持っているため、通関を行うための基本画面であっても、3コードで制限される種別まで理解できている従業員は少なく、海上と航空を業務画面内で切り替えられるものについては、この業務以外でも、わかりやすく切り替えられるようすることで、業務上の混乱も防げ、センターへの質問も軽減されるものと思われま。
H30-009	共通通関			会計検査院提出用の区分について	「要提のみ」もしくは「要提・他法令等」どちらの場合でも、申告区分が1Yとなっている	要提のみで電子提出対象である場合MSXも不要となったが、1Yとなっているため区分での提出の有無を確認することが困難となっている（ただし紙での申告の場合には、要提も含めて2部これまで通り提出が必要） 1Yは本来税関への書面提出が必要なものという区分の定義となっているので、電子申請の場合と紙での申告の場合の条件の違いがあっても、それを含めて区分でわかるようにしていただきたい。	税関への必要書面の提出漏れを防ぐとともに、不要なものの提出を防止する。
H30-010	共通通関	関税割当登録業務	TQA CEA	関税割当に係る数量管理手続の各種帳票データの輸入者への配信	「関税割当に係る数量管理手続」において、税関が実施する「関税割当証明書登録通知情報」「関税割当裏落内容税関確認後訂正確認結果通知情報」および「関税割当裏落内容確認結果通知情報」は、TQA実施者が通関業者の場合、輸入者に通知されない。仕様を輸入者にも通知する仕様に変更して貰いたい。	TQA実施者が通関業者の場合においても、以下の出力情報を輸入者に配信する仕様に変更して欲しい。 「関税割当証明書登録通知情報」（CAD110） 「関税割当裏落内容税関確認後訂正確認結果通知情報」（CAD0130） 「関税割当裏落内容確認結果通知情報」（CAD0270）	
H30-011	共通通関	輸出申告事項登録	EDA	輸出申告事項登録（EDA）の入力画面にて「記事（税関）」項目（140桁）があります。NACCSソフトの画面では2段表示となっておりますが、1段目71桁、2段目69桁と桁が揃っていません。わかりにくいので、1段目70桁、2段目70桁 に揃えて表示するよう修正して下さい。大額、少額ともに同じ状態です。	輸出申告事項登録（EDA）の入力画面にて「記事（税関）」項目（140桁）があります。NACCSソフトの画面では2段表示となっておりますが、1段目71桁、2段目69桁と桁が揃っていません。	輸出申告事項登録（EDA）の入力画面にて「記事（税関）」項目（140桁）があります。わかりにくいので、1段目70桁、2段目70桁 に揃えて表示するよう修正して下さい。大額、少額ともに同じ状態です。	外部ファイル取込機能を利用していますが、「記事（税関）」項目（140桁）は、70桁+70桁を想定してテキストを生成しております。71桁目が2行目の先頭になる筈が、現状は1行目の最後尾となりズレて表示されます。外部ファイルを修正すれば良いのですが、1段目71桁、2段目69桁と桁が揃っていないのも見栄えが悪いので、1段目70桁+2段目70桁の表示にして頂きたいです。
H30-012	共通通関	管理資料情報（151 輸入申告一覧データ）	管理資料	管理資料情報（151 輸入申告一覧データ）の仕様書記載内容について	CSVフォーマットの項目見出し（M列）に“臨時開庁識別”とありますが、仕様（出力項目表）では“予備”（項番52）となっております。	項目見出しは（仕様書を見なくても）値が出力されないことが理解できるように例えは“（予備）”など他の名称に変更してほしい。	

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-013	共通通関	輸入申告事項登録 輸出申告事項登録	IDA EDA	数量(1)、数量(2)	・統計計上単位以上と未満の数量を分けて入力できない ・千単位の区切り「.」と「.」の文字が小さく間違いやすい	統計計上単位以上と統計計上単位未満の入力項目を白抜き、色刷り部分に分けて記入・入力が行えないでしょうか	例えば統計計上単位未満の数字は計上以上の数字より小さく表示されるように出来れば一目で確認しやすい。
H30-014	共通通関	輸出入者情報照会	IIE	輸出入者の検索方法	検索方法が輸出入者名の前方一致のみである	検索を前方一致から部分一致へ及び住所によるフィルタリング	検索精度の向上
H30-015	共通通関	修正申告事項登録	AMA	修正申告を行う際、AMA/AMB入力時に、「修正申告(本申告)予定日」という欄を新規に設け、その欄に入力した日に準じた延滞税額が表示されるようにしてほしい。	修正申告を行う際、延滞税額についてはAMA/AMBを送信した当日の延滞税額が反映されており、本申告を行う未来の日付における延滞税額を知ることが難しい。	AMA、AMB入力の際、新規に「修正申告(本申告)予定日」の欄を設け、修正申告入力時に「修正申告(本申告)予定日」に入力した日における延滞税額が表示されるようにしてほしい。またAMC「修正申告(本申告)業務」で出力される関税修正申告控(内国消費税控兼用)にも延滞税額が表示されるようにしてほしい。納付にタイミングの関係で表示が困難ということであれば、別様式の出力を検討し、そちらに表示いただきたい。	
H30-016	共通通関		EDA	業務コード:EDA(輸出申告事項登録)を行う際、輸出承認証等識別コードの入力に係る要望。	輸出ライセンス(書面・電子ライセンス)を適用する輸出申告において、輸出申告書の「輸出承認証等識別コード」に下記のコード(4ケタ)を入力することとなっている。(また当該コードの右欄に、当該電子ライセンスの輸出許可番号を併せて入力する。) ①書面の輸出ライセンスを適用する輸出申告の場合・・・「FENO」 ②電子ライセンスを適用する輸出申告の場合・・・「FENJ」 なお、電子ライセンスを適用して輸出申告を行う場合、荷主(または荷主から委任を受けた通関業者)はナックス貿易管理サブシステムにより経済産業省宛てに電子申請を行う。  (問題点) 電子ライセンスを適用すべき輸出申告において、事項登録の際、誤って「FENO」と入力した場合であっても入力エラーとならず、また(システム上もロックが掛かる仕様ではないため)申告自体も起動してしまうことから、通関上支障をきたす。	輸出ライセンスを適用する輸出申告において事項登録を行う際に、上記①で誤って「FENJ」と入力した場合、あるいは②で誤って「FENO」と入力した場合、入力エラーに関するメッセージの表示(注意喚起)が出るよう、プログラムの改編を要望します。	適正な輸出申告を担保することができるものと考えます。
H30-017	共通通関	管理資料	H01	輸出申告一覧データ	ナックス配信の管理資料である「H01輸出申告一覧データ」では、少額申告扱いの代表統番がブランクである。	少額申告でも、統番が入力されている場合は、データとして集計して欲しい。	本データを通関業務明細簿として利用する場合、少額欄の統番を手作業で埋める作業が軽減される。
H30-018	共通通関		H01 151	CBD5100 151輸入申告一覧データ CBE5100 H01輸出申告一覧データ	管理資料取り出しを1回/月行っていますが、その情報の中には「貿易形態別符号」と「コンテナ本数」のデータがありません。	追加をお願いします。	申告実績を集計する際、コンテナ本数実績を集計でき、船会社に対する価格交渉に用いることができる。
H30-019	共通通関	輸入申告事項登録	IDA	IDA時の食品届の入力件数の訂正	食品届の件数を誤って入力した際に、以後の訂正入力が可能である。	第5次NACCSと同様に、訂正を可能とする。	事務量の削減

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-020	共通通関	輸入通関	IDA		輸入許可前引取承認申請の事項登録の際に担保番号が入力されていない場合はエラーとすか、担保番号が入力あされているかどうかを入力控えて判明出来る様にして欲しい。	輸入許可前引取承認申請の事項登録の際に担保番号が入力あされているかどうかを入力控えて判明出来る様にして欲しい。	申告後の担保不足を解消出来る。
H30-021	共通通関		IDA → IDE	輸入申告外貨物判明時の申告訂正方法	①輸入 税関検査（又は申告中）において申告外貨物が判明 ↓ ②仕分けして、一部を先に申告、許可をする際はマニュアルで行う ↓ ③残り（出切り）は、システムで申告許可	②についても、システムで申告（当初申告をIDDで変更 IDEで申告）し、許可となるようお願いしたい	緊急対応になることが多い中、マニュアル申告では、税関、通関業者に時間と手間がかかります。また、ミスの軽減にもなる
H30-022	共通通関	輸入申告事項登録 輸出申告事項登録	IDA EDA	法人番号で直接入力した場合に、紐付けが出来ているかどうかの判別が出来ないため、判別出来る仕組みへの変更。（IDA, EDA）	第6次NACCSでは法人番号で申告することとなっている。IDA, EDA作成時に法人番号で直接入力した場合、手入力での作業となるため、輸出入者番号との紐付けが出来ているのかが書類上では分からない。	法人番号から直接入力した場合でも、輸出入者番号をお持ちで紐付いているのかどうか、識別出来るような表示が出来ないものか。	法人番号からの直接入力の場合には手入力となるため、恰も紐づいているように見えるが、実際に紐付いているのかどうか確認ができる。
H30-023	共通通関		IDB IDD	IDB、IDD	入力控入力後、若しくは予備申告後に、IDB、IDDで貨物情報通りに訂正する際、これまでは入港日を削除しblankにして送信すると、貨物情報にある入港日が自動補完されていたが、更改後は補完されずblankのままとなってしまふ。	これまで通り、自動補完して頂きたい。	入力業務の簡素化。
H30-024	共通通関	輸入申告(税額が1欄で300万円を超える場合)	IDC	会計監査院用の提出書類が不要にも関わらず区分1Yの表示	会計監査院用の提出書類が不要にも関わらず区分1Yの表示	税額が1欄で300万円を超える輸入申告で区分1Yの表示を区分1と表示していただきたい	書類提出の要否の明確化
H30-025	共通通関	輸入通関	IDC	輸入申告	輸入申告で申告入力控え画面から申告する際、一般特恵が適用できるにもかかわらず、その適用をしていなかった場合、特恵適用確認「W0018」のエラーコードがかかり、そのままの画面では申告できないようになっている。それ自体は有効な仕様であると感じるが、基本税率が有税、WTO税率が無税のものにも同じ処置がなされている。そのため、基本的に特恵税率を使う必要のないWTO税率無税のものも、その都度「IDC」の業務コードに変えて申告しなければならない。	HSコード4819項など、WTO税率で適用税率が無税となっているものについては、特恵適用確認のエラーコードが出ない仕様に出来ないでしょうか。	WTO税率で適用税率が無税のものは結構な頻度で出てくるので、その都度画面を切り替える必要が無くなることで、スムーズな申告を行う事が出来る。
H30-026	共通通関	輸入通関	IDD	予備申告から本申告への切替における申告内容変更	大阪税関本関で予備申告し搬入が18時以降になる場合、現行では一度申告を取止め、再度、南港出張所特通に申告しなおさなければならず、予備申告の審査済み情報が反映されない等予備申告の意味がない。	予備申告後、許可までの間に申告官署（4A→4I等）の変更ができるよう（取止めを変更可）にしていきたい。	予備申告を利用した迅速な通関が期待できる。
H30-027	共通通関	輸出申告等一覧照会 輸入申告等一覧照会	IES IDI	IES:輸出申告等一覧照会 IDI:輸入申告等一覧照会	現行は、申告官署、申告先部門、蔵置官署、蔵置部門等を入力しなければならない。（申告官署等単位のデータの照会になっている。）	（第1希望）通関業者欄に利用者コードのみ入力すれば、当該利用者コードで申告したデータが全て照会されるようにしてほしい。  （第2希望）申告官署等を入力するために再度初めから業務を実施するのではなく、照会画面から申告官署等を繰り返し展開できるようにしてほしい。 （第3希望）通関コードを入力すれば、当該通関士が申告したデータが全て照会されるようにしてほしい。  （第4希望）輸出入者コードを入力すれば、当該輸出入者名で申告したデータが全て照会されるようにしてほしい。	第1希望の効果：申告官署等に当該業務を実施する手間がなくなる。又照会漏れを防ぐことが出来る。（自由化後は申告官署の選択範囲が広がるので申告官署等が現在より増えるため。） 第2希望の効果：最初から業務を実施する手間がなくなる。  第3希望の効果：申告を行った通関士が状況を把握しやすくなり、後続業務の漏れを防ぐことが出来る。  第4希望の効果：輸出入者ごとの状況を把握しやすくなり、後続業務の漏れを防ぐことが出来る。

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-028	共通通関	食品届	IFA	食品等輸入届出事項登録	検疫所からの連絡書は文字数制限がある為、用紙が一行ずつ発行される。 そのため連絡事項が多い時は複数の用紙で出力され、連絡内容が分かりづらいことがある。 また、他の連絡所と一緒にいったとき、連絡所同士のつながりが取りにくい。	検疫所からの連絡欄の文字数制限を無くして1枚で発行されるようにして頂きたい。	たくさんの連絡がある場合でも紙1枚で出力されることで連絡事項が把握しやすくなり、連絡漏れ防止や、用紙の節約につながる。
H30-029	共通通関	食品届	IFC	IFC業務に係る管理資料の配信（通関業務取扱明細簿に使用可能なデータ）	当該業務手続についてはH28.11.15付【食品等輸入届書に係る取扱いについて】大阪税関業務部（関税局）より周知のとおり、通関業務取扱明細簿へ記載・通関業務取扱台帳への計上が必要となりましたが、現行プログラムでは管理資料として存在しない為、自社システムでの管理が困難である弊社では、現状月ごとに手集計・手入力が必要となっています。	当該業務手続の適正管理目的の為、通関業務取扱明細簿の記載項目に即した管理資料の配信を要望致します。	自社システムで一括管理できない通関業者においても、食品等輸入届書に関し、通関業務取扱明細簿/通関業務取扱台帳の適正な管理が可能となる。
H30-030	共通通関		MSF01	通関系関連省庁添付登録（検疫所（食品））MSF01	初回輸入の分析資料などを添付して申請する業務ですが、送信した後の一覧確認ができない状態です。	輸出入申告のMSX業務ではIMS、申告添付一覧照会情報という業務コードで添付した資料を確認することができます。食品申請添付業務のMSF01にもこのIMSと同じような添付一覧が確認できる業務コードを新設願います。	添付送信した書類の一覧が分かれば送付忘れなども防げます。
H30-031	共通通関		MSX	申告添付登録MSX	1ファイル1MBの制限について	1ファイル1MBの制限を撤廃いただきたいです。枚数の多い、書類が多く1ファイル1MBの制限があると添付ファイルを複数に分割せざるを得ません。しかも、1ファイル1MBに収まるように書類をスキャンする際もスキャンしては容量を確認し、オーバーならさらに分割してと試行錯誤を重ねる必要がございます。現状、スキャンするのにかなりの時間と手間がかかっていますので1ファイル1MBの制限撤廃を強く申し入れさせていただきます。	スムーズに書類のスキャンが出来れば現行の手間が省かれます。時間にして1/5以下にはなると思われれます。よろしくお願います
H30-032	共通通関		MSX MSB	MSX MSB	添付書類は、複数ファイルをまとめて添付することが出来ない。	まとめて一度に添付出来る仕様として頂きたい。	業務効率の向上が期待できる。
H30-033	共通通関	申告添付登録	MSX	添付書類コードの増設	添付書類のコードが少ない	添付書類のコードを増設していただきたい。特に他法令関係。	添付書類の識別が明確化される
H30-034	共通通関	輸出入通関	MSX	MSX後の審査状況が判明するようになって頂きたい。	MSX後「COMPLETION」と出力されるのみでその後の審査状況がわからず税関に電話で確認することがある。	審査を始めた時間、審査官の名前等が利用者側で確認できるようにして頂きたい。	電話での無駄なやり取りが無くなり、また許可後の手配等がスムーズとなる。
H30-035	共通通関	輸出通関	MSX	特定輸出許可の取消し申請がシステムで申請出来るようになって頂きたい。	「特例輸出貨物の輸出許可取消申請書」税関様式C第9100号に必要書類を添付し、申告官署の通関担当部門に原本を提出している。	特定輸出許可の取消し申請がシステムで申請出来るようになって頂きたい。	迅速かつ円滑な処理手続きが可能になり、また、申告官署自由化に則し、特定輸出者の優遇性を十分に活かすことが出来る。
H30-036	共通通関	申告添付訂正	MSY01	MSY01業務 申告添付訂正	輸入許可（区分1Y）後、MSX業務で送信した添付ファイルに不備があった場合、MSY業務でファイルを削除・追加出来ないため、窓口提出に変更する必要がある。 （許可・承認となった後のファイルの差し替え等の訂正は、システム上実施不可）	区分1Yの場合は許可・承認となった後もシステムでファイルの差し替え訂正が出来るようにして欲しい。	原産地証明書等原本が必要になる場合もあるが、これによりPDFでの提出が可能となり通関業者や輸入者の負担が軽減される。
H30-037	共通通関	検査指定	税関業務	税関検査指定票の出力タイミング	予備申告時に税関検査指定した貨物情報が本申告時に変更になった場合、税関に赴き訂正が必要	予備申告時の他、本申告時にも検査指定票を出力する。	訂正の為のみに税関に税関に赴く必要がなくなり、税関手続きの電子化が促進される
H30-038	共通通関	包括評価申告管理		包括評価申告管理	業務なし	包括評価を取得した場合に、変更や更新、評価加算状況が確認出来るようなシステムの構築。申告官署や通関業者も海上航空でいくつかの業者・事業所に跨り、いつ加算申告したのか、まだ加算申告していないのかが分かるようなシステムがあれば、荷主に限らず通関代理店においても管理が容易である。	評価申告の加算漏れや二重加算の回避ができ、且つ期限等の管理が出来る。
H30-039	共通通関	原本の数量裏落とし		IDC業務、MSX業務、後に数量の裏落とし確認印の押捺で原本を税関へ提出する業務	輸出した貨物を分割して輸入する場合の通関数量の裏落とし（再輸入免税のE/D、暫定八条の付属書等）については、その裏落としを記載した書類をPDFファイル等で提出することで審査終了まで実施して頂いていますが、輸入許可後にその原本を申告先部門へ提出し税関の確認印の押捺を頂いている。	関税割当証明書（TQA, TQB, TQC, TQE）のような業務を設けて頂きたい。	・裏落とし確認印の押捺のために税関へ書類持ち込むことが削減される。 ・自由化申告が利用しやすくなる。

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-040	共通通関	輸入通関		現行、対象業務なし。	現行、対象業務なし。	通関士ごとの誤謬や非違件数のNACCSによる取出し。	社内検討資料として誤謬対策に役立てる。
H30-041	共通通関	輸出入申告		入力控、申告控、許可証の文字サイズ変更	6次ナックスの入力控、申告控、許可証とも文字が小さくなっているため、チェックの際に文字が見にくい。	6次ナックスの入力控、申告控、許可証の文字サイズを5次ナックス並みのサイズに拡大していただきたい。	見間違いによる誤謬の防止。
H30-042	共通通関		IIE01	法人番号情報照会	法人番号照会時、輸出入者名と住所が表示される。	輸出入者名、住所とともに電話番号の照会も行いたいため表示していただきたい。	
H30-043	共通通関	修正申告事項登録	AMA	汎用申請で輸入許可となったドキュメント貨物に係るAMA業務の対応	汎用申請にて輸入許可となった書類貨物について、事後に有税品貨物であることが判明した場合、汎用受理番号ではAMA修正申告がNACCSで行えなくなった。 5次NACCSで行っていたマニュアル申告では、申告番号体系に沿った申告番号を採番していたため、AMA、AMC業務での修正申告が可能であった。	AMA業務において汎用申請受理番号の入力を可能とし、NACCSで修正申告ができるようにして欲しい。	
H30-044	航空貨物	OLT01業務	OLT	航空業務コードOLTにて、出力情報を入力者以外の発送地、到着地の保税蔵置場にも出力先として設定してほしい。	Air-NACCSにて保税運送申告を行い、税関から承認された時の出力情報が、入力者のみに出力される。	承認後の出力情報を発送地、到着地の保税蔵置場も出力先として設定してほしい。※SEA-NACCSの保税運送承認と同様の扱いにしてほしい。	記帳義務違反、無許可搬出防止
H30-045	航空貨物	搬入確認登録	BIN	IS、IMの搬入先でも確認登録ができるようにして頂きたい。	税関官署へ報告後、CAS業務をしていただいている。		
H30-046	航空貨物	搬入確認登録	CAS	航空貨物取扱IS(蔵入)貨物搬入登録を、税関官署へ依頼をしましたが、IAW(貨物情報照会)に、CAS業務の履歴がありませんでしたので、履歴が見れるようにして頂きたい。	※上記要望の続きとなります。		
H30-047	航空貨物	貨物取扱登録	CHS	入力者の所属する税関と取扱保税蔵置場の管轄税関の入力者チェック	入力者の所属する税関と取扱保税蔵置場の管轄税関が異なる場合、CHS業務ができない。	入力者の所属する税関と取扱保税蔵置場の管轄税関のチェックを行わない。	管轄外税関に電子申請を行うことにより、自由化申告のメリットを享受できる。
H30-048	航空貨物	管理資料情報S14航空輸出貨物搬出入データのデータ収集契機の見直し	管理資料情報S14	管理資料情報S14航空輸出貨物搬出入データのデータ収集契機の見直し	カルネ通関等で税関がNACCSにPAE登録を行ったにもかかわらずデータ収集がされていない	輸出等許可となった時点でデータを収集するか、管理資料と同様に搬出確認時にデータを収集する	S14の管理資料が政令で定める記帳義務を満たす内容となる
H30-049	航空通関	輸入申告(業務コードIDA、AID)における包括評価番号欄	IDA	包括評価番号入力欄における複数評価番号を入力した際の評価補正の自動計算機能	5次NACCSでは包括評価番号は1つしか入力できないので税関記事欄に2つ目の包括評価番号を記載しています。	6次NACCSでは航空貨物の輸入申告(業務コードIDA、AID)に於いて包括評価番号が複数入力出来ませんが、「システムで複数の計算ができない為、評価区分コード5を選んで補正金額を入力する必要がある」とヘルプデスクからの回答でしたが、一括加算で(評価区分コードは2)申告を行った後の2回目以降の申告では補正する金額がありません(評価区分コードはブランク)。この場合の評価区分コードを新たに設けて頂きたいと思っております。	複数対応できれば大きいと思います。
H30-050	航空通関	他所蔵置許可申請輸出申告業務搭載確認業務		他所蔵置許可申請から輸出申告および搭載確認までのNACCS運用について不閉港でのNACCS処理業務が税関様の運用も含め可能となるよう希望します。 ・輸出入申告・搬出業務及び搭載確認など	・現行、不閉港(伊丹空港)に駐機している航空機に関する、税関手続きはすべてマニュアルで行えない。 ・輸出通関する際、大阪税関本関にマニュアルで他所蔵置許可申請を実施し、同税関にマニュアルで輸出申告している。 ・以上のとおり、申告官署、通関営業所、蔵置場それぞれ相互間で遠距離にあり、時間的に迅速な対応に苦慮している。	・不閉港においても空港コードなど各種コードが付与されたNACCS処理業務対象となるようにしていただきたい。 ・上記内容を含め、輸出先によっては、他所蔵置許可申請から輸出入申告及び搬出までNACCSを利用した輸出入申告を可能としていただきたい。 ・税関にとっては搭載確認業務を通関業者が実施できるよう変更いただくことにより、税関への統計計上が自動になると聞いております。	・通関関係書類の電子化・ペーパーレス化に貢献できる。 ・輸出入者と通関業者にとって時間と経費が削減できる。 ・税関にとって迅速な処理に寄与できる(書類審査の簡素化など)。
H30-051	航空通関	輸入申告	IDA	複数B/Lによる申告(航空)	複数B/Lを1申告としての申告が不可能	複数B/Lでの申告を可能とする	マニュアル申告の削減により電子化が推進されるとともに自由化申告の利用が可能となる。
H30-052	航空通関	見本持出許可申請	MMA	入力者の所属する税関と蔵置場の管轄税関の入力者チェック	入力者の所属する税関と取扱保税蔵置場の管轄税関が異なる場合、MMA業務ができない。	入力者の所属する税関と取扱保税蔵置場の管轄税関のチェックを行わない。	管轄外税関に電子申請を行うことにより、自由化申告のメリットを享受できる。

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-053	航空通関	MICからIDCへの申告訂正及びMECからEDAへの申告訂正	MIC MEC	MICで申告後、IDA及びIDCへ変更する機能とMECで申告後のEDA、EDCへ変更する機能を設けてほしい。	現在マニフェスト申告後、マニフェスト申告適用除外品であることが判明した場合、税関の了解の得てマニフェスト申告の撤回を行い、輸入の場合は、IDA、IDCを輸出の場合はEDA、EDCを行っているが、輸入において加算税が発生する案件については、当初のMICの申告番号を引継いだマニュアルでの申告（紙での申告）を行うよう税関から指示されている。マニュアル申告だとNACCS口座（リアルタイム口座）の使用が出来ないなど、納付方法に制限もあり対応に時間がかかる。また、NACCS外となってしまうので、履歴管理が難しい。	NACCSで一元処理を可能とするため、MICで申告後にIDA及びIDCへ変更する機能とMECで申告後のEDA、EDCへ変更する機能を設けてほしい。	
H30-054	海上入出港	WebNACCSにおけるCSVファイルのアップロード	WebNACCS	Web NACCSのCSVファイルのアップロード後の情報表示方法の変更	乗組員情報と旅客情報をCSVツールを利用してWeb NACCSにアップロードした後の各関連メニューの表示がファイル名になっていて、中の情報がどのようにになっているかをWeb NACCS上で確認できない。	当該情報の表示はファイル名ではなく、乗組員情報と旅客情報そのものを表示して、Web NACCS上で変更ができるようにして欲しい。	アップロードした情報を変更できるようにすることで作業効率上がるし、アップロードしたファイルの内容が正しいかどうかを検証できるため、誤った情報を送信するリスクを減らせる。又、ミスタイプがあった場合その場で情報を修正できる。（CSVファイルをアップロードし直すのは大変手間が掛かる。）
H30-055	海上入出港	WebNACCSによる入港前統一申請書類状態確認	WPT WVS	WPT業務で過去の危険物情報を他の情報と一緒に参照できるようにして欲しい。	WPT業務の申請等呼出及びファイル読み込み機能に危険物情報を読み込む機能が無い。又、WVS業務のダウンロード機能に危険物情報を一緒にダウンロードする機能が無い。	WPT業務の申請等呼出及びファイル読み込み機能に危険物情報を読み込む機能を追加して欲しい。又、WVS業務のダウンロード機能に危険物情報を一緒にダウンロードする機能を追加して欲しい。	内航船は船とパースによって、許可を受ける危険物情報がほぼパターン化されているため、他の情報と危険物情報を連動（一元管理）する方が効率が良い。CSVツールはWPT業務に危険物情報を読み込むまでの手順が多すぎて効率が著しく悪いので、イレギュラーな場合のみ使えればそれで良い。（添付したファイル内に情報が正しく書き込まれているかの確認もできないし）
H30-056	海上入出港	WebNACCSによる入港前統一申請	WPT	WPT業務で危険物情報の入力にCSVファイルを利用した際、ファイル名を表示するのではなく、危険物情報そのものを表示するようにして欲しい。	WPT業務において危険物情報を入力する際アップロード情報を使用する機能を利用した場合、画面にファイル名しか表示されず、ファイル内の内容が正しいかどうかの検証ができない。	WPT業務において危険物情報を入力する際アップロード情報を使用する機能を利用した場合、ファイル名ではなく、危険物情報そのものを表示して、書き替えを可能にして欲しい。	危険物情報そのものを表示して随時書き替えを可能とすることで、もし間違った情報を入力してしまった場合に、間違った部分だけ変更すれば良いので、誤申請のリスクを減らせる。CSVファイルを添付し直す手間に比べると、情報の変更が格段に早く効率が良い。
H30-057	海上入出港	外航入港前統一申請 WPT 乗員上陸申請の乗換上陸			乗換上陸申請を行う時、乗組員情報に「船長」の情報が入らないとE1244のエラーが発生する。統一申請でアップロードした船長を含めた乗組員全員分の乗組員情報を付けるとエラーは発生しない。しかし、入管には乗組員全員が乗換上陸を行うというデータが流れている。乗換上陸は必ずしも船長が必要としているのではないため、船長の情報が入らないと乗換上陸申請ができないのではシステム上、欠陥があるときと言えない。現状、NACCS申請は行えないので、マニュアル申請での対応しかとらざるを得ない。このままでは乗換上陸のNACCS上での運用に意味がない。	乗換上陸を申請する乗組員だけの乗組員情報入力欄を作成してほしい。	今のままでは、乗換上陸はNACCS申請が行えずマニュアル申請での対応となってしまう。改善すれば、その問題点も解消できる。
H30-058	海上入出港	WebNACCSのログイン	-	セッションタイムアウト	現在netNACCSでは外航船しか申請出来ない。よってWebNACCSを使って内航船、外航船の代理店業務の申請を諸官庁へ提出している。しかし、ログインしてから1時間したら再ログインをしなければ続けて利用することが出来ない。	①netNACCSで外航船だけでなく、内航船も申請できるように追加してもらいたい。 ②WebNACCSの稼働時間が1時間と非常に短い。再ログインは非常に手間が掛かり、使い勝手が良くない。稼働時間の延長（ずっとつけっぱなしが多い為、12時間ぐらい）もしくは、更新すればまた1時間続けて使えるように改善を強く要望します。	-
H30-059	海上入出港	-	VTX01 VTX11	VTX01、VTX11船舶運航情報のWebNACCSとパッケージの連動	弊社がセカンドポートの外航船の船舶運航情報をパッケージソフトからVTX11を使い呼出したところ、呼出しせずに、前港代理店に確認したところ、WebNACCSを利用したとのことでした。WebNACCS→パッケージソフトへの連動を一度確認して頂けないか。	-	パッケージソフトでの船舶運航情報入力業務がスムーズになる。

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-060	海上入出港	パッケージソフトによるTCP業務	TPC	TPCとん税納付申告の金額の記載	TPCとん税納付申告にて適用税率のプルダウンリストに1トン当たりの金額を記載したらどうか。	A：入港ごとに納付（36円） B：一時納付（108円）	とん税の誤納付防止につながる。
H30-061	海上入出港	WebNACCSによるCSVファイル作成ツール	-	CSVファイル作成ツール	保存時にファイル名が自動で付される。	自動で付されるファイル名は例えば乗組員情報ではcrew-20170901000001の用に数字の羅列になっている。 複数人でファイルをアップロードした場合にファイル選択時にどれが該当ファイルか判らないため一旦保存した後にファイル名の数字部分を船名に変更してからアップロードしている。 保存の際に「名前を付けて保存」と同様にファイル名を変更出来るようにしてほしい。	① CSV出力ボタンを押す。→②自動的にファイル名が付けられて指定フォルダーに保存。→③フォルダーを開く。→④ファイル名を変更。 この③、④が省略可能 = 手間が減少する。
H30-062	海上入出港	パッケージソフトによるVPX業務	VPX	備考欄の入力内容	備考欄に身分証明の有効期限を記載。	第5次NACCSでは、身分証明の有効期限を記載するところが無い為、便宜的に乗組員情報、乗客情報の備考欄に記載し、転記している。第6次NACCSより有効期限の欄が設けられたことにより備考欄が空くようになった。この備考欄に記載した内容を乗員上陸許可証の欄外余白に印刷頂きたい。	客船のように乗組員が多数乗船している場合に乗員上陸許可証を配布、回収するのにかなりの時間を要する。欄外に仕分けしやすくするように本船内の部署コード等を明記することで配布、回収に要する時間が短縮できるため。
H30-063	海上入出港	WebNACCSのログイン操作性	-	ワンクリックでトップページに移動	確認業務等で深く潜ってしまった際にトップ画面に戻る際に何度も「戻る」ボタンを押さなければならない。	一般的にホームページを作成する場合、一番上のロゴなどをクリックするとどこからでもトップ画面にジャンプするように作られている。WebNACCSでも同様のことが出来るようにしてほしい。	「戻る」をクリックするたびに画面を読み込むが、申請が集中する時間などに画面読み込み時間に時間がかかることが予想され、トップページに戻るだけでも結構時間が掛かりストレスを感じる。申請の締め切り時間が迫っているときに読み込み時間に時間が掛かると間に合わなくなる可能性も有るが、これにより全体の通信量が減り通信速度も速くなると思われる。
H30-064	海上入出港	WebNACCSにおけるWVS業務及びWSC業務の画面レイアウト	WVS WSC	トップ画面のレイアウト変更 (WVS、WSC)	WebNACCSトップ画面の「書類状態確認 (WVS)」、「一時保存情報呼び出し (WSC)」の位置が画面の下方にあるためたどり着くまでマウスクリックしなければならず面倒。	「書類状態確認 (WVS)」、「一時保存情報呼び出し (WSC)」はよく使うため、トップ画面上部の「帳票確認 (WNC)」右横の空きスペースに移動若しくはリンクを貼って欲しい。	両業務とも使用頻度が高いため、クリックするためにマウスクリックしなければならぬのは手間が掛かりストレスを感じる。トップページの丁度良いところに空きスペースがあるため有効利用したい。
H30-065	海上入出港	WebNACCSにおけるWUD業務の画面レイアウト	WUD	トップ画面のレイアウト変更 (WUD他)	WebNACCSトップ画面の「CSVアップロード」「ツールダウンロード」が上、「乗組員・乗客・危険物 (WUD)」が下に配置されている。	一般的に使用頻度の高い方が上側に配置され、利用者もそのようなレイアウトに慣れているため使用頻度の関係から上下逆にして欲しい。	一般的に使用頻度の高い方が上に配置されていることに慣れているため、押し間違えることが有る。「ツールダウンロード」は一度ダウンロードするとほぼ使わないが「乗組員・乗客・危険物 (WUD)」はかなりの頻度で利用するので押し間違いが減る。= サーバーとの通信が減り、通信速度が上がる。
H30-066	海上入出港	WebNACCSのログイン	-	ログイン画面	WebNACCSにログインするたびにユーザーIDとパスワードを入力する必要がある。	PWは現行仕様のまま都度入力することで構わないが、パッケージソフトと同様にIDは一度入力したら自動で表示されるようにしてほしい。 ユーザーIDが自動で表示されるように設定するかしないかを選択できるように出来ればBetter。更に現行パッケージソフトと同様に複数IDを記憶しておきカーソルを合わせると選択できるようになればBest。	手入力する箇所は少しでも少ない方が良い。現行のパッケージソフトでも利用者IDは一旦入力すれば以降の入力は不要なため、これに慣れている方にとっては都度IDを入力するのは煩わしく感じる。現行同様に利用者IDは一度入力したIDデータを保持して頂きたい。
H30-067	海上入出港	WebNACCSのログイン	-	ログイン認証	以前より、代理店協会が強く要望していたWebNACCSの使用が第6次NACCSにて可能となった。しかし、勤務先にて使用するパソコンはデジタル証明書を取得しており、WEBNACCSへの接続が可能であるが、デジタル証明書を取得していない自宅等のパソコンではWEBNACCSを使用することが出来ない。	セキュリティ強化の観点より、デジタル証明書の認証を不可したとのことだが、WEBNACCSに接続する際には使用者ID及びPASSWORDを入力することでセキュリティは十分確保されていると思っている。それ以上に自宅、或は出先等で使用出来るように利便性を上げて欲しい。	利便性の向上
H30-068	海上入出港	-	WPT	入港前統一申請	-	税関・入国管理局の受理or送信成功回答を得たい 保証契約情報 船舶保安情報の送信完了の自動返答を得たい	-

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-069	海上入出港	WebNACCSにおける業務機能の改善	-	錨地指定一覧	-	停泊場所の空き状況はNACCSログインなしで確認できるようにしてほしい。	-
H30-070	海上入出港	パッケージソフトにおけるIVS業務機能の改善	IVS	届出指定一覧の表示	・申請した書類の名称表示がない ・申請先の表示が官署コードのみ	・照会種別（B1、C1、D1等）だけではどの種類の申請をしたか把握しづらいので、以前のように書類名称を表示していただきたい。 ・申請先の表示も官署コードのみではなく、以前のように「〇〇市（〇〇港湾管理者）」と表示していただきたい。	-
H30-071	海上入出港	WebNACCSにおけるWPT、WIT業務機能の改善	WPT WIT	-	入港届（転錨届）提出情報（WIT）にてマニュアル処理識別、乗組員が常に38（マニュアル）になる（WPT送信時システム処理を選択し乗組員情報を提出済みにもかかわらず）	WIT送信時、マニュアルかシステムの選択を出来るようにしてほしい。	-
H30-072	海上入出港	WebNACCSにおけるWPT業務機能の改善	WPT	-	WPTで船名が入力出来ないので一時保存情報呼出し（WSC）にてコールサインは表示されるが船名が表示されない。	内航船のWPT業務同様、外航WPT業務においてもコールサインにて船舶呼出しを行い船舶名称が表示される様にして欲しい。	-
H30-073	海上入出港	WebNACCSにおけるWUD業務機能の改善	WUD	-	アップロードファイルや一時保存情報が削除できない	不要となったファイルや一時保存情報を任意で削除できるようにしてほしい。	-
H30-074	海上入出港	CSVファイルの入力項目	WPT WIT WOT	CSVファイルのCREW LISTにおける身分証明書有効期限欄に関して（WPT/WIT/WOT）	WPT/WIT/WOT業務において、申請上不要である場合においても身分証明書有効期限の入力が必須となっており、未入力だとエラーになる。	身分証明書有効期限が未入力状態でも送信可能にして頂きたい。	不必要な業務の削減
H30-075	海上入出港	-	-	-	入港前統一申請（WPT）、停泊場所指定願の訂正で時間を延ばす訂正をすると乗組員総数など、入力不要な項目のエラーが出る。	エラーの理由がわからないのでご確認願います。	-
H30-076	海上入出港	-	VTX01	-	A業務、乗組員・旅客・船用品を編集する際 船舶運航情報登録（VTX01）航海番号（1）、（2）を入力しても航海番号（1）でしか呼び出せない、または編集できない。	船社で使用している航海番号は内地の途中で切り替わることがよくあり、船舶運航情報登録（VTX01）航海番号（1）、（2）に入力した場合、乗組員情報等どちらの航海番号（2）でも呼び出せるようにしてほしい。乗組員・旅客・船用品を編集する際に航海番号の片方のみ編集、（1）（2）両方編集する機能を追加すれば可能だと思う。	-
H30-077	海上入出港	-	-	-	内航メニューに外国人乗組員の乗員上陸許可申請がない為、内航資格中の日本客船では申請ができない。	以前のように業務メニュー「CRW」を復活させてほしい。それではあれば内航船でも入管申請が可能となる。	-
H30-078	海上入出港	WebNACCSにおける出力帳票	-	WebNACCSの帳票確認（WNC）	帳票検索結果が帳票名称でどの本船の申請か不明。申請が多い時、1件1件開封しなければならないため。	CALL SIGNや船名等で判別しやすくないか？ もしくは、検索条件でCALL SIGNや船名での検索ができないか？	各官庁からの回答情報が本船単位で確認することが容易となる。
H30-079	海上入出港	WebNACCSにおけるWPT業務機能の改善	WPT	内航 入港前統一申請（WPT）	WebNACCSになり、パッケージソフトでできていた、担当船が5～6隻ある場合にそれぞれの船でファイルを開き必要事項を入力して準備できていたものが、1船毎にーから入力していかないと申請ができない。	数隻の船の基本情報等を入力して準備しておき、時間が決まったら時間だけを入力していくことで申請に掛かる時間を短く出来るようにしていただきたい。	週末等20隻～30隻の申請に掛かる時間を短縮できる。
H30-080	海上入出港	-	VPX	錨地指定一覧	構内錨地申請について、旧NACCSまでは日時が被っても変更できていたが新NACCSになってからは日時が被っていると変更出来なくなっている。  （例）20/1200-23/1200申請を21/1200-24/1200に時間が被っているため新NACCSでは変更不可。一旦時間を被らないように申請し、もう一度申請する必要がある。	時間が被っても変更可能に変更してもらいたい。	申請回数が減る。
H30-081	海上入出港	-	-	受信確認	検査所受信確認について、旧NACCSでは検査所に無線検査、入港届を送信すると受信確認電文の返信があった。新NACCSではなくなっている。	旧NACCSと同様に受信確認電文を返信していただきたい。	送信ミスがなくなる。

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-082	海上入出港	-	VPX VPX11 VTX02 VTX12	-	本船寄港において船員交代（乗下船）がある場合、下船者についてはVPX内の乗員上陸許可申請のタブに入力し申請している。このVPX内の乗員上陸許可申請はそれ以前にVTXにおいて登録されている船員情報が対象となり、入管へ下船者のみの乗換申請をする際には当該船員のみを対象としたVTXを入力し（下船フライトが異なる際には更に分けて）、再度出港届の際には出港時の全船員を登録するという大変な手間がかかり非常に困惑している。	VPXの乗員上陸許可申請のみで入管への下船者の申請ができるよう変更を希望する。	-
H30-083	海上入出港	-	VTX11 VTX12 VTX13 VTX14	-	必須項目が船舶コードと航海番号になっておりますが、例えば前航海で使用している運航情報を利用する場合に前港で使用されている航海番号が不明な場合は、前港の代理店に確認するなどしなければ既に登録されている運航情報を利用できず、新規ですべてのデータを入力しなければならない。	必須項目を船舶コードのみにしていただき船舶コードで呼び出すと登録されている運航情報がすべて表示されるようにしてほしい。	登録されている運航情報を再利用できるので新規でデータを入力する必要がない。
H30-084	海上入出港	-	VPX	受信確認	税関に対しVPXを行った際に、税関より届いた旨の回答が無いので申請後に税関へ電話で確認をしなければならない。	VPXを行った際に税関より回答が来るようにしてほしい。	税関に電話で届いているか確認をする必要がなくなる。
H30-085	海上入出港	-	VTX11 VPX	-	6次NACCSではVTX11で港の寄港順序が変更になった際、本邦寄港順序を変更するだけで便利になったが、寄港順序を変更後に税関に対してVPXの訂正を行うと「算出された本邦寄港順序が訂正前の入港前統一申請の本邦寄港順序と異なる」というエラーがでて訂正ができない。	VPXで寄港順序が変更になった場合に訂正ができるようにしてほしい。	変更前の運航情報を取り消し、新規で再度申請する必要がなくなる。
H30-086	海上入出港	WebNACCSのサブメニュー	-	サブメニュー	複数の申請先に同時に申請する際に、申請書類のリンクをクリックして必要事項を入力し、一時保存をする作業を必要申請書類ごとに繰り返し行っている。チェックボックスにチェックを付けた申請に対してエラーのチェックを確認し、同時申請を行っている。	一つの画面で同時に複数の申請先へ申請する為の入力が行えるようにしてほしい。	・繰り返し行う作業の効率化を図ることができる。 ・未入力及び誤入力を防ぐことができる。 ・エラーチェックについても一目でどの箇所に不備や間違いがあるか判断ができる。
H30-087	海上入出港	WebNACCSのサブメニュー	-	サブメニュー：エラーチェック	複数の申請先に同時に申請した際のエラーチェック結果は別画面で展開される為、その画面を確認しながら訂正等を行っている。	複数の申請先に同時に申請をした際のエラーチェックで不備があった場合の指摘の仕方について、入力画面のどの箇所がわかるように色等で表示してほしい。	・繰り返し行う作業の効率化を図ることができる。 ・未入力及び誤入力を防ぐことができる。 ・エラーチェックについても一目でどの箇所に不備や間違いがあるか判断ができる。
H30-088	海上入出港	-	-	-	③内航貨物運送到着確認（DCA） ④汎用申請（HYS） ⑤船陸交通許可申請（APA） →パッケージソフトのみの対応になっている。	③-⑤WEBNACCSでも対応可能にして欲しい。	-
H30-089	海上入出港	WebNACCSにおける添付ファイル機能	-	-	外航船の入港前統一申請に関して、CREWLISTを1名1名打ち込みになっており、現状これが最大の難関になっている。	上記内容につきCREWLISTはPDFファイル添付でOKとする。	申請手順が簡単で、大幅な時間短縮ができる。外航のNACCSを使いたくない最大の理由であることなので是非そのようにしてほしい。
H30-090	海上入出港	WebNACCSにおけるWPT業務機能の改善	WPT	一時保存	WebNACCSのWPT業務において、申請を入力後に保存ボタンを押した場合は保存番号が付与されるが、画面はその申請画面に留まる。	保存番号を付与した後はそのままサブメニュー画面へ自動で移動し欲しい。	わざわざ戻るボタンでブラウザ移動する必要があり、特にねっと環境が繋がりが難しい場合には時間が多くかかってしまう。
H30-091	海上入出港	-	-	-	税関へ本船が入港する1日前に通報しなければならない「揚荷情報」をNACCS上にて申請出来ないため、この申請は書類提出しなければならない。	申請出来る業務を新設して欲しい。	申請がNACCSと書類で混在すると管理しにくいので出来るならNACCSで統一したい。
H30-092	海上入出港	-	WPC TPC	-	とん税納付申請は申請控えのみNACCSで確認できる。	NACCSセンターの受領証（納付完了済証）のようなものを新設して欲しい。	船会社から未納付の嫌疑がかかった場合に納付の証拠として保管したい。

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-093	海上入出港	WebNACCSの機能改善	-	一時保存	申請を入力し一時保存した後にその画面のまま別の船舶の申請内容を入力し保存すると最初の申請に上書きされてしまう。このため新たな申請を入力、一時保存するためにはマトップ画面に戻らなければならない。	一時保存した後に開いている画面に別の船舶の内容を入力後に最初の本船のデータに上書きせず別のデータとして一時保存できるようなボタンを追加して欲しい。 (港湾EDIは登録方法の違いからデフォルトでは上書きでは無く別データとして登録されるようになっておりフル活用していました)	例えば同日に同じ岸壁で数隻付け替えて荷役する場合の係留施設使用許可申請は最初の本船の登録内容に本船名と日時の変更程度だけで済むためかなりの省力化になる。現行の仕様通り同じ本船のデータを上書きすることもあるため、保存する際の上書き保存するか、新規保存するかを選択できるようにすれば入力にかなりの省力化を図ることが可能。
H30-094	海上入出港	WebNACCSの機能改善	-	-	WEB NACCSで停泊場所指定願、係留施設使用届、入出港届を申請し、受理を頂いた物を印刷した時印刷したかどうか分からない。	WEB NACCSで申請書を印刷したら文字の色が変わったり印刷済だと分かるようなマークが表示出来たら使いやすしい。	-
H30-095	海上貨物	ACL情報登録(コンテナ船用) ACL情報登録(在来船・自動車船用)	ACL	ACL業務で積地、船舶コード、VOY NO、BOOKING NO、船社コードを間違えたまま仮送信してしまうとその後の訂正がきかずACL11の1で一旦削除した後、再度ACLを登録しなくてはいけなくなっている。(5次では訂正可能でした)しかも訂正の際にBOOKING NO.に枝番を付けなくては送信が出来なくなるため、船社との間で混乱することが予想されます。キー項目訂正のしばりをなくして頂きたい。	ACL業務で積地、船舶コード、VOY NO、BOOKING NO、船社コードを間違えたまま仮送信してしまうとその後の訂正がきかずACL11の1で一旦削除した後、再度ACLを登録しなければならない。しかも訂正の際にBOOKING NO.に枝番を付けなくては送信が出来ない。	キー項目訂正のしばりをなくして欲しい。	ACL情報の訂正・変更が楽になる。
H30-096	海上貨物	貨物情報照会	ICG	現行で1枚出力だったのが2枚出力となっている	1枚出力	液体輸出入は2枚目不使用(空欄状態)なので1枚へ変更を希望	不要な用紙の削減
H30-097	海上貨物	海上コンテナ貨物搬入		VGM 情報入力欄の追加	日本においてVGM情報が E I Rをベースに船会社がターミナル経由でCODECOを通してEDIとして入手、またはCODECOが整備されていないターミナルからはE I Rコピーやサマリーシートを入手し、マニュアル入力している。また、CY CUT日の搬入が多くCY CUT前にVGM情報が入手困難。	VGM情報が NACCSを通し S Iが船会社に提供されるタイミングで入ること、情報提供者がお客様であること、VGM要求事項が確実に伝達されることを目指したい。	
H30-098	海上貨物	輸出貨物BL作成業務	全てのACL業務	マーク欄、品名欄の改行を有効にする	現在、お客様がマーク欄、品名欄で改行を行っても、EDIFACTで受信した際はその改行が自社システムに反映されない状況です。その為、お客様にスペースを入力してもらうか、自社システム側で手直しが必要となっております。	上記改行がEDIFACT上でも反映される様、システムの変更をお願い致します。	
H30-099	海上貨物	輸出貨物BL作成業務	ACL01			1. Cargo Description欄の拡大 (Background: Attachment sheetで情報が別途提出されるケースが30%に及び日本のBL作成自動化を妨げる大きな原因になっている。MSLとしては今後ある程度の情報をCargo descriptionに記載する中古車などには今後ウェブサイトもしくはDirect EDIを推奨せざるを得ない状況になっている)	
H30-100	海上貨物	危険物明細情報	DDR DDC DCR		現在のDLRIには含まれていませんが、ブッキング時点で次の情報を受け取っています。 ・Limited Quantity (Yes/No) ・Contact Person	次の項目の追加を希望します。 ・コンテナタイプ an/1 ・Limited Quantity an/1 ・緊急連絡担当者名 an/50	いずれの項目も存在しない場合は、旧来の情報伝達手段でのやり取りがなくなる可能性が高いです。
H30-101	海上貨物	貨物情報仕分業務	CHJ	CHJ業務の不具合 グロスウエイトとネットウエイト双方が入力されている貨物情報を分割する際、グロスウエイトは分割出来るがネットウエイトに関しては入力欄がないので分割出来ない。このため、ネットウエイトはそのまま表示されネットウエイトの方がグロスウエイトより大きくなってしまふ。(分割後AもBも分割前と同じネットウエイトが表示される)	グロスウエイトとネットウエイト双方が入力されている貨物情報を分割する際、グロスウエイトは分割出来るがネットウエイトに関しては入力欄がないので分割出来ない。このため、ネットウエイトはそのまま表示されネットウエイトの方がグロスウエイトより大きくなってしまふ。(分割後AもBも分割前と同じネットウエイトが表示される)	貨物情報のネットウエイト欄は必須項目ではないので入力不可にするか、または、ネットウエイトも分割できるシステムにして欲しい。	不具合が解消される

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-102	海上貨物		BOC	搬出確認登録	BOCの搬出日時がBICの搬入日時よりも以前の日付になっていても送信できる。	BOCの搬出日時がBICの搬入日時よりも以前の日付として入力された場合は送信できない仕様にして欲しい。	保税検査の際に指摘されることが無くなる。そもそも搬入日前に搬出することはありえない。しかし、人が行うことでミス入力をすることもあり、その度に税関当局へマニュアル管理のための変更をすることはこのご時世則わないと存じます。税関当局にお手間をおかけすることも減ると存じます。
H30-103	海上貨物			許可・承認貨物（輸出情報）	本船、輸出者、乙仲等々の情報の記載がある。	項目としてブックニングNO.を記載してほしい。	混載貨物を扱うにあたり、ブックニングNO.の記載があれば、許可書を見ただけで、どのコンソリ業者扱いの貨物が明確にできる。倉替元の倉庫でBOC（搬出確認登録）の処理がされないと、ICG（貨物情報照会）を閲覧できない故、本船が被るコンソリ業者などは確認や問い合わせが困難である。
H30-104	海上貨物		ICG	貨物情報照会	輸出貨物の場合、倉替元からBOC（搬出確認登録）の処理が行われないと、搬入先倉庫では貨物情報の閲覧を行うことができない。	ECR（輸出貨物登録情報）の時点でバンニング場所（蔵置コード）の登録がされているので、BOC（搬出確認登録）が行われていなくてもICG（貨物情報照会）の閲覧を可能に。	許可・承認貨物（輸出）情報にブックニングNO.の記載がない為、この書類だけではこのコンソリ扱いなのか（本船が被るコンソリが多い為）確認できない。ICG（貨物情報照会）にはブックニングNO.の記載がある為、倉替元が搬出前でも閲覧し、確認する事ができる。
H30-105	海上貨物		BOC	BOC（搬出確認登録）の取消	倉替元からBOC（搬出確認登録）が行われ、なんらかの都合で取消が行われた場合、倉替先にNACCSから出力される情報は、搬出番号と輸出管理番号だけである。	搬出番号と輸出管理番号の他に本船名、ブックニングNO.の記載をしてほしい。	搬出取消の情報が出力され、どの貨物が確認したくともICG（貨物情報照会）ではBOC（搬出確認登録）されていないので閲覧することができない故、要望内容項目が追加されれば確認しやすくなる。（社内システムでは取込したNACCS情報の上書きがないため、同じ輸出管理番号で搬出番号違いの情報がでてきてしまう為、搬入処理を行う場合間違いを防げる）
H30-106	海上貨物		VAN VAE	バンニング情報登録時のエラーメッセージ機能の追加	輸出保税業務において保税蔵置場で輸出許可された後、コンテナへの貨物バンニングを行い、保税運送で港頭地区CYへ搬入する場合、BIC（貨物搬入登録）→EDC（輸出通関）→VAN・VAE（バンニング情報登録）→CYA（搬入登録）の手順でNACCS登録を行います。バンニング情報登録をするコンテナが1本であればバンニングの都度NACCS登録を行えば問題ないのですが、複数本のコンテナを纏めてVAE（貨物管理番号単位）業務で効率的にバンニング情報登録を行うことがあります。NACCSの入力は正確に行うことは当然ですが、誤って別の輸出許可済の貨物管理番号でVAE登録を行った場合CYAが先行していることを理由にCY通関を行ったものとみなされ、誤った輸出貨物許可情報とコンテナ情報が完全に紐付けされてしまいます。紐付けされた情報の訂正や解除は容易に行うことが出来なくなり、訂正するには税関・船会社・荷主への説明・報告・相談のうえ進めなければならず、多大な時間を要して予定本船への船積み間に合わなくなる可能性もあります。	コンテナ情報と輸出貨物許可情報についてBOOKING内容と一致しない場合は、紐付けされず、VAN・VAE（バンニング貨物情報登録）または、CYA（搬入登録）の入力画面で訂正を促すエラーメッセージがポップアップされるように設定変更する。	送信エラーのメッセージにより、関係書類の再確認を行い正しい情報でVAN・VAE（バンニング情報）へ登録し直すことでできる。訂正作業に要する時間が削減され、予定本船への確実な船積みが可能となる。
H30-107	海上貨物	ACL情報登録	ACL	ACL情報登録時のキー項目訂正	ACL業務で積地、船舶コード、VOY NO、BOOKING NO.、船社コードを間違えたまま仮送信してしまうとその後の訂正がきかずACL11の1で一旦削除した後、再度ACLを登録する必要がある。	第5次NACCSと同様に、訂正を可能とする。	事務量の削減
H30-108	海上貨物	ACL情報登録	ACL01	ACL情報登録時の改行	ENTERキー等での改行ができず、改行する度にスペースキーを何度も押す必要がある。	ACL情報登録業務において、ENTERキーによる改行を可能とする。	事務量の削減

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-109	海上貨物	貨物情報照会の帳票レイアウト	ICG	貨物情報照会の帳票レイアウト	貨物情報の帳票の2枚目の余白部分が90～98%程度	コンテナ本数の少ない貨物情報の帳票レイアウトを1枚に纏めていただきたい。	ペーパーレス化の実現。
H30-110	海上貨物	保税運送	OLA11 OLC20	OLA11, OLC20業務についての入港日自動補完	OLA11にて保税運送事項登録を行い、搬入日にOLC20にて搬入時申告を行いたい。CY搬入の際に入港日が変更されるとOLA11にて登録した入港日のまま保税運送の申告が上がり、結果入港日が間違っただまま申請（区分1の場合は承認）されることになる。大阪では「対査」の制度があり、保税運送承認通知書の入港日が間違っていると対査を受け付けてもらえないので、税関に連絡し訂正しなければなりません。現在は搬入後に入港日を確認してから保税運送申請をするようにしている。	OLC20業務にて搬入時申告を行う際、ぜひとも入港日を「自動補完」の仕様にして頂きたい。 6次NACCSでは輸入申告における入港日が「自動補完」となったように、ぜひとも保税運送に関しても入港日を「自動補完」の仕様にして頂けると、より業務がはかどる。	搬入を待ってICGで入港日を確認しなくとも、朝一番で搬入時申告をかけておけば搬入時に自動で申告がかかるので、あとは頃合いを見て「即時電文取出」で確認するだけです。その分他の業務に手を回せるので、非常に効率的になる。
H30-111	海上貨物	輸入通関	SHS	「SHS」（仕分け）業務 B/Lの桁数が増えないように変更願いたい。ダブルチェックの段階で現場が混乱して、早速ミスが発生している。改善を強く要望します。堺や名古屋の客先でも困っていると聞いており、そちらからも依頼を受けている。	(例) B/L OTHOSJSS2017999900 ↓ OTHOSJSS2017999900A OTHOSJSS2017999900B ↓ OTHOSJSS2017999900BA OTHOSJSS2017999900BB ↓ OTHOSJSS2017999900BBA OTHOSJSS2017999900BBB ↓ . ↓ .	(例) B/L OTHOSJSS2017999900 ↓ OTHOSJSS2017999900A OTHOSJSS2017999900B ↓ OTHOSJSS2017999900C OTHOSJSS2017999900D ↓ OTHOSJSS2017999900E OTHOSJSS2017999900F ↓ . ↓ .	・ミスを防ぐ効果が非常に大きい ・桁数がほとんど増えない（システム負荷減）
H30-112	海上貨物		SIR	SIR（船積指図書）業務	輸出者の代行の元請業者としてS/Iを登録し、各海貨業者、通関業者へSIRにて船積指図書を送りたいのですが、後工程における電文情報が元請業者である当社へECR, ACL, EDC等が電文として通知されません。	荷主代行としてSIRを行った元請業者に対しては荷主と同様に各業者が行った電文情報の通知をしてほしい。	他港業者とNACCSを介したシステム連携が図れる。大手の業者は自社でネットワークを持っているが、各港の地場業者間でネットワークシステムを構築するのは困難である。そこで、上記のように元請⇄海貨業者⇄通関業者間でNACCSによるネットワークが確立されれば地場業者間で大手通関業者並みのネットワークができ、自由化に伴う大手業者が有利となることに対抗できる。又、元請業者、各協力会社と情報共有が図れ、お互いの作業工数が減少し、長時間労働の解消が期待される。
H30-113	海上貨物		SIR11 ECR11	SIR11船積指図書（S/I）情報登録呼出しの記号番号をECR11輸出貨物情報登録呼出しに展開されるようにしていただきたい	現行NACCSではSIR11船積指図書（S/I）情報登録呼出しの記号番号がECR11輸出貨物情報登録呼出し時に展開されていたが6次NACCSへの移行に伴い、記号番号が展開されなくなりました。	現行NACCSと同じように、6次NACCSでもSIR11船積指図書（S/I）情報登録呼出しの記号番号をECR11輸出貨物情報登録呼出しに展開されるようにして頂きたい。	SIRからECRに記号番号が展開されなければ、記号番号をECRに一件ごとに貼り付けねばならず、作業効率が大変悪くなる。現行NACCSと同じシステムにしていただくことで作業効率の悪化を防ぐことができる。
H30-114	海上貨物	輸出入通関		貨物搬入のお知らせ機能（業務）の追加	通関蔵置場所に貨物搬入済み（BND）であるかの確認が、ICG業務による搬入確認しか出来ない。	通関蔵置場所に、貨物が搬入されたことをリアルタイムに何かしらの方法で通知してほしい。	搬入確認後から申告に入るまでの時間短縮が図られる。 ICG業務を行うことにより発生するコストの削減に繋がる。
H30-115	海上貨物	保税運送貨物の搬入業務	BIA ICG	保税運送で複数コンテナの搬入日が異なった際、開始日時と終了日時が更新されることの見直し	OLC（個別運送受付情報）にてBIA搬入確認登録（保税運送貨物）を行う際、運送期間の確認を行っているが、表示上の運送期間が「発送の日から7日間」となっているためICG貨物情報照会（TTL全体情報）にて最初に搬出をした日を確認し、同じくICG（PRM保税運送申告等税関手続情報）で開始日時と終了日時を確認をしている。 コンテナが複数あり、それぞれ別々の日に搬出される場合、搬出された日毎にICG（PRM保税運送申告等税関手続情報）の開始日時と終了日時が更新されてしまい、運送開始の日が明確ではない。	現行のNACCSでは運送期間が超過してしまっているものでも、BIA搬入確認登録が行ってしまうので、運送期間が超過する搬入処理が行えないようになるのが希望（以前のNACCSだと運送期間が超過したものはエラーで弾くようになっていた）。また運送期間の確認で行っているICG（PRM保税運送申告等税関手続情報）の開始日時と終了日時を最初のコンテナが搬出された日で固定してほしい（発送の日から〇日間の「発送の日」が明確にならないため）	BIA搬入確認登録（保税運送貨物）の処理がエラーになれば、運送期間の超過しての搬入がなくなる。またICG（PRM保税運送申告等税関手続情報）の開始日時と終了日時が最初のコンテナの搬出された日で固定されれば、運送期間が明確になり期間の超過を未然に防ぐことが出来る。

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果	
H30-116	海上貨物		CY0		PKI後にCHJ→CK0でX線検査のために搬出する際にCY0 (K) 業務をNACCSで送信するとエラーとなる。 エラーコード: E0054-CKD-0000	CHJでB/L仕分けを行った後にCY0業務が送信可能としていただきたい。	管理台帳に反映される。 長期在庫にならない。	
H30-117	海上貨物	海上貨物	CMF03		他港揚げT/Sに就き、揚げ港でCCL完了後に当港でCMF03を行っているが、現状データの保存期間がCCLから起算して2日と非常に短く、その間にデータが消えてしまったり土日出勤を余儀なくされるケースがある。  輸出で当港積み他港T/S貨物がありNACCSで対応したいが、現在輸出データはCCL完了後でないCMF03できなく、夜間週末だとCCL対応不可の船社がありマニュアル対応や時間外業務を余儀なくされるケースがある。	・CCL後の輸入データの保存期間を2日+α延長頂きたい。 ・輸出のT/S処理(仮陸揚げCMF03)をCCLではなくCLR後にできるようにして頂きたい。	夜間、土日等、平日の時間外での業務をなくせる。	
H30-118	海上貨物	ACL情報登録	ACL		貨物の記号・番号等のアタッチシートを電子ファイル化して当該業務の添付ファイル化したい。		詳細仕様検討の結果実施しない事とした案件一覧の復活。プログラム変更要望が引続き出ているので要望することとした。	
H30-119	海上貨物	ACL情報登録	ACL		禁則文字について	電文上にメールアドレスを記載する場合に使用する「_」(アンダースコア)、危険品のフラッシュポイント等温度表記に使用する「°」が禁則文字となっており使用できない。荷主によっては正確な記載を要求される。	技術的に難しいと思われませんが「_」「°」を利用可能として頂きたい。	二重入力負荷の軽減
H30-120	海上貨物	ICN (コンテナ情報照会)	ICN		ICN (コンテナ情報照会) 照会内容に貨物管理番号が入っていない。	ICN (コンテナ情報照会) 照会内容に貨物管理番号を追加して頂きたい。	端末入力、船会社手続きの円滑化。海貨として利用価値が認められる。	
H30-121	海上貨物	新規業務			輸入CFS引取予定情報通知 (仮称)	各CFS倉庫がそれぞれ作成した様式の「搬出申込書」に必要事項を記載してFAX送信している。	仮称「輸入CFS引取予定情報通知」業務を追加して頂きたい。	各倉庫の様式に記載する業務の省力化
H30-122	海上貨物	新規業務			一括搬出取消確認登録 (仮称)	混載業者(NVOCC)が予定されたコンテナ詰場所が変更となった場合は、一括搬出登録を行っている場合のみ一括搬出取消が可能であるが、一括搬出されていない場合は輸出管理番号ごとに取消を行っている。	個別搬出登録した場合でも、仮称「一括搬出取消確認登録」業務を追加して頂きたい。	
H30-123	海上貨物	貨物情報照会	ICG TTL		貨物管理番号 (輸出) で照会すると「バンニング場所」の表示がない。	貨物情報照会 (全体情報) に「バンニング場所」の表示をする。	輸出許可通知書の確認をせずに照会が可能となり省力化になる。	
H30-124	海上貨物	貨物情報照会	ICG TTL		貨物管理番号 (輸出) で照会すると「許可承認番号」の表示がない。	貨物情報照会 (全体情報) に「許可承認番号」の表示をする。	コンテナ詰場所が変更となった場合、「ICG/TTL」に貨物搬出状況確認を行い搬出されている場合は、「BOC」(搬出確認登録) 搬出取消を行うため「ICG/TRN」で「許可承認番号」を確認して登録を行うことになるので全体情報にて確認が一度でできる。	
H30-125	海上貨物	ACL情報登録	ACL		コンテナ番号入力欄 (繰返部に記事欄がないため、荷姿及び内個数を「共通部2」の記事欄にコンテナ番号を明記し記載している。また、特殊コンテナの場合はオーバーハイ・オーバーワイドを同様に記事欄に記載している。	コンテナ番号入力欄に内個数・オーバーハイ・オーバーワイドの入力欄を設ける。	コンテナ番号の入力省力化。	
H30-126	海上貨物	ACL情報登録	ACL		品名ごとに個数・重量・容積を入力し合計欄に入力している。	合計欄に品名ごとの個数・重量・容積を自動計算させる。	誤入力防止及び省力化。	
H30-127	海上貨物	貨物在庫状況総会	IWS		貨物識別: B貨物 輸出入識別: 22輸出 (積戻しを含む) で照会した場合「出港予定日」が表示されない。	貨物在庫状況照会に「出港予定日」を表示させる。	貨物管理番号を取得されている一覧が表示されるが、「出港予定日」が表示されることにより目安となり確認の手間が省ける。	

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-128	海上通関	簡易貨物情報	SCR	「搬入年月日」の項目において、未来日（予定日）でも対応できるようにしてほしい。	未来日（予定日）で入力するとエラーではじかれる。		
H30-129	海上通関	出力帳票：許可・承認貨物（輸入）情報	IDC CEA	SAD4311 輸入許可貨物情報の帳票レイアウト	SAD4311 輸入許可貨物情報につきまして、前 naccs では1枚のみの受信でしたが、6次naccsから2枚の受信になっています。	2枚目の情報はコンテナNOの続きとなっておりますが、必要のない場合がほとんどで、出来れば1枚に集約していただきたい。	経費削減（用紙の節約、コピー機費用の節約、インクの節約）
H30-130	海上通関	出力帳票：許可・承認貨物（輸入）情報	IDC CEA	「許可・承認等登録通知情報（輸入許可）」の電文印刷時に2枚に跨って印刷されています。	「許可・承認等登録通知情報（輸入許可）」の電文印刷時に2枚に跨って印刷されていますが、1枚にまとめて印刷されるようにプログラム修正を行って頂きたい。	「許可・承認等登録通知情報（輸入許可）」の電文印刷時に2枚に跨って印刷されてしましますが、「許可・承認貨物（輸出）情報」同様に1枚に印刷されますよう、プログラム変更をお願い致します。（あるいは1枚にまとめて印刷されるような設定項目の追加でも構いません）現状は受信の度に2枚に渡り印刷されてしまいますため常に用紙が無駄になっています。（2枚目にはほぼコンテナNo. 記載が無く、2枚目は無駄に消費している状態です）用紙の費用的な問題もありますし（無駄な用紙費用をNACCsセンターが負担して頂けるのか）、このご時世において地球資源を無駄に消費するというシステムの恥すべき仕様となっています。早急に御解決頂けますよう、ご検討の程、宜しくお願致します。	用紙費用の削減及び地球環境負荷の低減
H30-131	海上通関	輸入通関	AMA	AMA(修正申告事項登録)海上、AMC(修正申告)海上での延滞税表記について	リアルタイム口座振替方式で納付する修正申告において、AMA(修正申告事項登録)で出力する「修正申告入力控」では、延滞税額が出力されているが、AMC(修正申告)により出力される「関税修正申告控」では延滞税額が出力されないこととなっている。	リアルタイム口座振替方式で納付する修正申告において、延滞税額は「リアルタイム口座振替完了通知情報」CAF6150もしくは「リアルタイム口座支払完了通知情報」CAF6141で確認することとなっているが、AMC(修正申告)での「関税修正申告控」の出力帳票においてリアルタイム口座で即納付した場合においては、延滞税額の印字を要望する。	
H30-132	海上通関	システム外搬入登録	BIB	システム外搬入の登録時における搬入日の期間制限	システム外搬入の登録可能期間である1年を超えている貨物については、マニュアルによるISW(再IS)となっている。	システム外搬入の登録可能期間を、撤廃する。	マニュアル申告の削減により電子化が推進されるとともに自由化申告の利用が可能となる。
H30-133	海上通関	輸入通関	BIB - RCR	第6次の更改では、航空貨物を外貨のまま海上貨物として積戻す場合、システム外搬入(BIB)の後の積戻貨物情報登録(RCR)が利用出来ない扱いと聞いている。		航空貨物が本邦到着後において、保税運送にて海上保税蔵置場等に搬入の後、船便にて海外へ積戻す場合に、航空・海上間の貨物情報変更(変換)機能をシステム内に付加して頂きたい。	
H30-134	海上通関	輸出貨物情報登録	ECR	ECR:輸出貨物情報登録	現行、EDC業務(輸出申告)でI(搬入時申告の登録)をかけた後でも、搬入が入っていない場合にはECRを訂正することができる。また、BIC業務(搬入確認登録)情報とEDC情報は荷姿しか照らしあわせられない。そのため、EDC後に重量等訂正が生じた場合に、ECR情報を訂正してBICを行ってしまうとECR/BICと異なる重量等で、勝手にEDC(輸出申告)がかかってしまう。	(第一希望) EDC(輸出申告)を外さないとECRの訂正ができないようにする。  (第二希望) EDCとBIC情報を照らし合わせる際に、荷姿だけではなく重量もその対象にする。	連絡タイミングや連絡ミスによる非違・余計な訂正を防ぐことができる。(現行、ECRを入力する全員に対してECR訂正&EDC再申告→BIC搬入の順番で業務を行う必要があると周知し、人力で非違が起きないように努力しているが、システムエラー扱いにしていれば非常に助かります。)
H30-135	海上通関	輸入申告	IDA	複数B/Lによる申告(海上)	1申告で5B/Lまで申告可能	1申告で10B/Lまで申告可能とする。	マニュアル申告の削減により電子化が推進されるとともに自由化申告の利用が可能となる。
H30-136	海上通関		IFA IPA		貨物管理番号やB/L番号を入力しても新規作成 IFA、IPA等へ船名・VOY・コンテナ番号・個数・重量・マーク・到着部・搬入日・事故の有無などの情報が反映されない。	IFA、IPA等新規作成において貨物管理番号やB/L番号を記載することで反映させることができると利便性が高まる。	記載間違いの減少効果が見込まれ、入力業務の簡素化。

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-137	海上通関	検査指定票（倉主等用） 検査指定票（運搬・倉主等用）	SAD4901 SAD4891	検査指定票（倉主等用） SAD4901 検査指定票（運搬・倉主等用） SAD4891	・ 現行は、税関、倉庫等が以下の内容（発送確認、日時、到着確認、日時等）を手書きして対査確認印を押している。（紙での運用になっている。） 税関職員または倉主（印） * 発送確認日時 * 到着確認日時 税関職員または検査場管理員（印） * 発送確認日時 * 到着確認日時 見本採取者（印）	平成29年10月8日から通関関係書類の原則PDF化による書類提出が行われている中、税関検査指定票（運搬用）に関しては、倉庫担当者の対査印、税関職員の対査印が必要のため、紙での運用が存在している。 検査指定票（運搬用）の紙での運用を電子化による運用に変更することを検討して頂きたく要望いたします。 例えば、システム上で発送確認日時 到着確認日時 を入力し記載するようにすることで、対査印の押印の代わりに紙での運用がなくなるのではないのでしょうか。 運用に関係することですので関税局も含めてご検討頂ければと思います。	通関業者としては、対査印の押印のために倉庫、税関へ足を運ぶことが無くなるため、特に自由化申告での検査対応がスムーズに行えることが想定できます。
H30-138	海上通関			①IDA業務にて原産地証明書の内取が可能にしたい。 ②MHA業務で監視部門に提出する見本持出しを可能にしたい。	①現行、原産地証明書の取り扱いは、輸入許可の日より3日以内の提出、また内取通関の場合には、原産地証明書に輸入許可日、輸入申告番号、輸入個数、数量を記載して税関の押印後返却を受ける ②NACCSでは監視部門に対するMHA業務（見本持出し）が行えない	①第6次NACCSでは、原産地証明書原本の提出が不要となるようですが、内取通関に於いても、NACCSで内取通関が可能にしたい。 ②見本持出し場所が外航船名でも行えるように変更を依頼します。外航船TANKからサンプルを採取するため	特定の貨物に限らず、NACCSでの原産地証明書の内取を可能とし事務効率が高い
H30-139	海上通関	輸入通関	IDC	「蔵入承認（以下「IS」）貨物のシステム管理選択をした保税蔵置場にてIS済み貨物の移入承認（以下「IM」）申請を行う場合に貨物情報を利用できる設定にしたい。」	現行の仕様は次の①②③④ ①IDA（事項登録）時にIMを選択すると貨物情報DBが存在するにもかかわらず利用できない。 ②IDC（申請）をしても貨物情報に申請を行った旨は登録されない。 ③IM承認後に貨物情報に承認の旨は登録されない。 ④保税蔵置場にも承認の旨の情報は配信されず、また、搬出確認登録（BOA）等、後続業務はできない。 以上から、次の⑤⑥の不便点がある。 ⑤保税蔵置場においては、IS後の貨物をシステム管理しているにもかかわらず、承認証自体を受領しないと承認となっていることは確認はできず、マニュアルの保税管理となる。 ⑥税関保税部門は、滞留する情報について、保税蔵置場より連絡を受け、強制的に情報を消す作業を行う。  （尚、通常の蔵置貨物は下記⑦～⑩の通りシステム活用ができています	下記、通常の蔵置貨物（IS後のシステム管理貨物ではないもの）につきIM申請を行う場合と同様の仕様とされたい。 ⑦IDA（事項登録）時にIMを選択しても貨物情報DBを利用できる。 ⑧IDC（申請）をするとも貨物情報に申請を行った旨が登録される。 ⑨IM承認後に貨物情報に承認の旨が登録される。 ⑩保税蔵置場にも承認の旨の情報は配信され、また、搬出確認登録（BOA）ができる。	・ 申請作成時に貨物情報を利用することができる。 ・ 貨物情報にて作業の進捗状況が確認できる。 ・ 保税蔵置場でIS後IM貨物のシステム管理ができる。 ・ 税関側での貨物情報を強制的に消すという不自然な作業が不要となる。
H30-140	海上通関	新規業務		一括輸出許可内容変更申請（仮称）	混載業者（NVOCC）が予定されたコンテナ詰場所が変更となった場合は、輸出許可ごとに「輸出許可内容変更申請」を行っている。	仮称「一括輸出許可内容変更申請」業務を追加して頂きたい。（但し変更対象は自社通関分）	業務省力化
H30-141	損害保険	包括保険申請業務	HHA HHC	全て包括保険申請に係る事項です。 1. パスワードの連絡方法 2. パスワードの桁数 3. 保険識別	1. 包括保険番号とパスワードが同じ紙面（包括保険登録情報控PDF）に記載されている。 2. 現在のパスワード桁数は4桁。 3. 保険識別「C&F」	1. 包括保険登録情報控PDFにはパスワードを記載せず、パスワードのみ別信で連絡する仕様に変更していただきたい。 2. 4桁ではなく桁数を増やしていただきたい。 3. 保険識別「CFR」にした方がよいと考えます。	上記3点は、いずれも輸入者様（弊社のご契約者様）より頂戴したご要望です。 1および2についてはセキュリティ上の観点からご変更を望まれております。 宜しくお願致します。
H30-142	損害保険		HHA	NACCS画面（HHAおよびその他関連画面）について、以下2点の改修をお願いいたします。 処理内容の表記変更 (1)「料率変更」→「登録内容変更」 (2)「訂正」→「損保項目訂正		現行の表記では、処理内容の選択を誤る可能性があるため、分かりやすい表記への変更を依頼するもの。 「料率変更」：料率のみならず、登録内容全般の変更の際に選択 「訂正」：損保用の3項目を変更する際に選択	各荷主・損保における正確かつ迅速な電子包括申請が可能となり、利用推進につながる。
H30-143	その他	リアルタイム口座帳票要否呼出し	URK11	①業務可能時間②輸入申告毎に選択できるようにしていただきたい	URK11でリアルタイム口座振替完了通知書を出力するか否かの設定ができる時間は9：00～17：00であるにも関わらず、輸入申告が可能なのは8：00～17：45である。8：00～9：00、17：00～17：45はURK11ができない。	①URK11業務可能時間の24時間化②URK11で行った設定が事務所内のすべてのNACCS端末に反映されるのではなく、輸入申告毎に選択できるようにしていただきたい。	①当該業務の稼働時間を気にすることなく輸入申告が可能となる。②ペーパーレス化の実現

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果
H30-144	その他		ACL01	ACL業務での画面処理（ファイル印刷）からの印刷において受信（出力コードSAT135）と同様に2ページ（枚）のレイアウトで印刷できる、またはカスタマイズ印刷が適用できるように改修してもらいたい。	ACL業務で登録した内容を画面処理（ファイル印刷）から印刷すると6ページ（枚）の紙が出力される。		
H30-145	その他		ACL01	ACL01業務での重量・容積（共通部の合計グロス重量・容積と繰返部コンテナの各グロス重量・容積の不一致を致判した場合には、アラートを表示して登録送信を中断し、開いている画面で訂正を再入力して送信できるようにする。	ACL01業務での重量・容積（共通部の合計グロス重量・容積と繰返部コンテナの各グロス重量・容積が不一致となった場合でも送信は正常終了する。		
H30-146	その他	MSB（添付ファイル登録）	MSB		MSB（添付ファイル登録）ファイル添付時、複数一週に添付することが出来なくファイルが複数ある場合にひとつひとつ添付していく為、時間を要する。	MSB（添付ファイル登録）ファイル添付時、複数一週に添付することを可能として頂きたい。	端末入力、船会社手続きの円滑化。
H30-147	その他	パッケージソフトのオプション設定			端末入替時に、新端末に旧端末と同様の設定をゼロから登録する必要がある。	旧端末の設定のエクスポート等を行い、新端末にインポート等できる機能の実装。または、端末入替を簡略化できる機能の実装をお願いしたい。	端末入替作業の費用および負担の削減。300台の端末入替に準備を含め350時間を費やしている。
H30-148	その他	掲示板における業務仕様書の掲載方法			全ての業種に対する業務コードや業務仕様書がNACCS掲示板の同じ場所に（一つの場所にまとめて）記載されているため必要な業務コードを検索しづらい。	次期NACCSでは使用できる業種、業務が増えるので業務コードや業務仕様書を業種別に分けて検索し易いようにして欲しい。	exa. 通関業・海貨業などのインデックスを付ける等